

つくしだより



平成28年5月号

「精神障害者の交通運賃に関する請願」活動の中間報告

都連会長 眞壁 博美

昨年6月の評議員会で、各家族会にお願ひして約9カ月の署名期間が終わり、東京つくし会に最終的に集まった有効署名数は、34,289筆となりました。皆様本当にありがとうございました。全国で集まった署名も、まだ最終的な数は出ておりませんが、62万筆になるものと思われま

各単会を通して、都内に事務所がある国会議員に紹介議員になってくださるよう働きかけも行いました。その結果、4名の議員さんが紹介議員になっていただけることになりました(全国では174名)。

今後の活動としては、5月13日(金)に全国から集まった請願署名を持って紹介議員をいくつかのグループに分かれて要請行動を行います。この請願署名は、関連する国会の委員会で話し合われた後、国会本会議で採択か不採択が決まります。しかし、採択されたらすぐに運賃が割り引かれるわけではありません。採択されたら、請願項目について国会が政府に働きかけ必要な法律を通すこ

とになります。私たちの運動は、必要な法律を作り、具体的に精神障害者の交通運賃引きが他の障害者と同様になるのを見届けるまで続きます。

◆署名活動を通して思ったこと

1、4月15日までに各単会から届いた報告を見ると、会員の数が多いたところが必ずしも署名を多く集めたわけではないということがわかりました。役員会でこの署名活動の意義や具体的にどのように集めるかの方針がきちんと話合われ、担当者を決めたところはたくさん集めたのだと思います。

2、各単会で署名担当の方がいて、署名数やカンパの額をきちんと把握していること。そして、会報に毎回載せて、現在の到達点を会員みんなが共有することが、「自分も、親戚や親しい友人だったらできるかな」という意識付けになったよう

3、バザーや講演会などのイベントで署名を呼びかけた会は、目標以上を集めました。自治会で活動している方に依頼してたくさん署名を集めてもらった方もいました。いつでも署名用紙を持ち歩き、会

う人ごとに訴えて、50人、100人と集めてくれた人もいました。

4、寄付金については、各単会で集まった寄付金はすべて各単会で自由に使ってもらうようにしました。署名用紙の印刷も各単会にお任せしたので、用紙の配布もスムーズにいきま

5、街頭署名活動について

昨年12月1日に新宿駅西口駅頭で署名活動をおこないました。たった1回しかできませんでしたが、都連の呼びかけに多くの家族会から45名もの方々の参加があり、大変勇気づけられました。

6、家族会独自で、このようにたく

さんの署名を集めた事は、近年にないことでした。署名は地味な活動ですが、署名を集めるために、さぞや勇気を出して呼びかけたことでしょう。そんな家族の方達の心を思うと本当に胸が熱くなりま

大田区心身障害者福祉手当が支給されるようになりまし！

都連副会長 川崎洋子

長年にわたり家族会が切望してきました心身障害者福祉手当（以下手当）が、大田区ではこの4月から実施されるようになりました。手帳1級保持者に限るという限定的な実施となりましたが、これからの運動の突破口となりました。背景は、障害者差別解消法であると考えています。昨年まではできないの回答でしたが、今年に入り急展開しました。「差別とはなにか？」が問われる中で、様々な事例が紹介されました。その中で、大田区が取り組んだのが制度上の差別で、この手当でした。

家族会は、区へは勿論、各政党のヒアリングに参加し、手当の実施を訴え続けてきました。区の厚生委員会も家族会は傍聴しました。傍聴席は家族だけでしたけど…。

そして、3月14日、大田区心身障害者福祉手当条例の一部改正条例が交付されました。

対象者に精神障害者の障害等が1級のものが増えられ、支給額は月額4500円、施行日は平成28年4月1日とされました。

手当の支払いは、本人名義の口座振込で、年3回となり、振込月は、8月（4月から7月分）¹²月（8月から11月分）¹¹4月（12月から3月分）¹²で、毎回25日に支払われます。

1級保持者には区から連絡がいきますが、あくまでも申請が必要というところが行政のやり方

ですね。

どこでも1級保持者数は少ないです。大田区でも200名くらいです。「このくらい金額、なんてことないではないか」と言ってしまっっては終わりです。

まずはこれが始まりと考えて、これからの運動を進めていくことが大切です。公的機関の交通費の助成、医療費の助成など進めなくてはならないことが、押し寄せています。

この手当支給を足掛かりにして、更なる活動をしていきたいと考えています。

今後は、偏見社会を正しくしていくことに力を注ぎたいと思っています。大田区では、いまままで身体、知的を対象としたいくつかの活動がありましたが、昨年より呼びかけがあり、いくつかの行事に参加し、精神障害者とその家族の現状を話しています。精神障害に関しては、「初めて聞きました」の声に驚きましたが、驚いている場合ではありません。地域の人たちが精神障害者とその家族に適切な支援してくれるような地域社会を作っていきたいと考えています。

徳山さんを偲んで

3月13日に急逝された徳山さんへの寄稿文を掲載いたします。



徳山さんを偲んで

都連会長 眞壁 博美

徳山さんは、曲がったことが大嫌い。理事会の発言も皆が納得する筋のおったものでした。引き受けた仕事は、きめ細かく丁寧にしてくれるので、安心して仕事を頼めました。関東ブロック大会の準備のため、あちこちに一緒に出かけて行きましたが、都内の地理に明るく、方向音痴の私はいつも徳山さんにくっついて歩いていました。私が徳山さんと最後に会ったのは、2月の理事会の時でした。「三家族会で、バスを借りてクッキングハウスに見学に行く計画がある」ことを嬉しそうに話してくれました。あの時の笑顔がとも印象に残っています。徳山さん、やり残したことはたくさんあったでしょうが、それは後の人に託して、どうぞ、ゆっくり休んでください。

徳山尚子理事のご逝去を悼む

都連副会長 松沢 勝

徳山さんとは、平成22年7月以来の約5年半に及ぶお付き合いでしたが、東ブロックの運営で常に先頭に立ち、小生と塚本さんの2人の男性理事を導いて頂いた。ブロックの15の単会の事情に良く通じていたことと、石川、三浦元理事との役割分担が上手くいったことが年長者の多い単会の代表者からも頼りにされていました。

PSWの中でも、その専門性と情熱は群を抜いており、ブロック会議でのテーマの選定とそれに合った講師陣をひっぱりだくる力は素晴らしかった

と思います。

彼女のいない我がブロックのこれからをじっと見守って頂くことを祈念したい。合掌

徳山さん、天国でゆっくり休んでください。

あしなみ会 石川和子

東京つくし会理事徳山尚子さんが急逝されてから二か月が過ぎようとしています。未だに信じられず、携帯の着信音が鳴ると「あっ、徳山さんからだ」と聞いてしまいます。徳山さんは、中央区つつじ会の園邊前会長さんからの推薦で理事になりました。理事としての徳山さんの働きは、同じ理事としての私は教わることばかりでした。家族・当事者がどんな状況に置かれていて、どんな支援が必要かを、休日・夜間を問わず勉強され、専門の知識を身につけておられました。その上での理事としてのあの謙虚な働きは、施設運営にも携わっている私の目標になっていました。東京つくし会では、懸案であったブロック会議を平成二十一年から本格的に取り組み始め、徳山さんは東ブロック担当理事の中心になり、アンケート作り、集約、当日の運営、記録等大きな役割を果たされました。ブロック会議の会場と司会を持ち回りでしたので、会場に当たっている会の会長さんときめ細かく打ち合わせする中で、徳山さんは、単会の会長さんの厚い信頼を得ていました。時々、ブロック会議の前に「ランチしましょう」とファミレスに誘って下さった時の笑顔が浮か

びます。

徳山尚子さんの訃報に接して

中央区つつじ会 直江恵美子

余りにも信じられず、「嘘!!」と言ってしまう。外出の途中でしたが、だんだんと落ち着かなくなり、大急ぎで佃区民館へ聞きに行きました。いつも元気に足早に、何事もテキパキとしている人が…と信じられませんでした。

徳山さんが当会に初めて来られた時のことは、今でもよく覚えています。今から15年ほど前、「中央区のお手伝いをしたいと思って入会しました」と言われたからです。

当時は保健所の中で例会があり、加納会長の時でした。すぐに書記に回り、例会の記録をとり、配布されました。そのころ、ホームもありましたが、会長がホームを頼むと言われ、徳山さんの頑張りともわりの人の手助けもあって、現在のホームがあります。

そのころにPSWの資格をとり、その資料もいただきました。家族会が場所を移してから、事務局として活躍いただき、都連の皆さま方にもお世話になりました。

長い間すべてお願いしておりましたので、あまりに突然のことで、どう対処すべきか…。

一番驚いているのは、徳山さんご本人だと思えます。まだまだすることが山積しているのに、なんで、なんでの想いがいっぱい残念なことだっ

たでしょう。心からご冥福をお祈りいたします。ほんとうにありがとうございました。私たち一同、協力しながらこのつつじ会を盛り立てていきますので、どうぞ、お見守りください。

徳山さんとお別れ

ホームつつじ 東 あい子

徳山さんとこんなに早くお別れすることになるとは思いもせませんでした。今でも、書類のたくさん入った手提げを持って、息を切らせながら、いつものように事務所へ顔を出しそうな気がして、そうでないことがとても寂しいです。

私がホームつつじの世話人として入職したとき、上司としての徳山さんと出会いました。当時は同僚のいないひとり職場で、右も左もわからず、何か起きるたびに利用者や関係機関への対応に困り、徳山さんへ毎晩電話で報告・相談し、泣き言もたくさん聞いてもらっていました。批判やクレームがあっても、徳山さんは私のやっていることを信じ、励まし続けてくれました。私が10年超この仕事を続けてこられたのは、徳山さんが上司としてだけでなく、適切な助言をくれる先輩として、身近な同僚として、福祉へ携わる同士として、常に寄り添ってくれたからだと心から感謝しています。

徳山さんが天国から安心して見ていられるように、がんばります!!

平成28年度東京つくし会評議員会を成功
させましよう

都連副会長 植松和光

単会の皆様、日頃は都連の運営にご協力を
いただきまして有難うございます。昭和43年
に当会が結成されてから48回目の評議員会
になります。再来年の創立50年を目指し更なる
前進を目指していく評議員会にしたいと思
っております。各単会から選出された評議員
の皆様におかれましては万障お繰り合わせの
上出席をお願いいたします。

日時 6月23日(木) 午前10時から

場所 世田谷区烏山区民センター

3階集会室

統合失調症疾患の研究の第一人者糸川昌成
先生の都民精神保健講演会開催のご案内
演題「心の病は誰でもかかるゝ治る? 最新
の精神医療について」

評議員会終了後に場所を区民ホールに移し
て開催いたします。評議員の皆様はもとより、
家族、当事者、関係者の方の参加をお待ちし
ています。

日時 6月23日(木) 午後1時30分から

場所 世田谷区烏山区民センター

1階ホール

主催 東京つくし会

後援 世田谷区・東京都医学総合研究所

講演会のお知らせ

☆5/28(土) 統合失調症はなぜ再発しやすいのでしょうか?
講師: 千葉大学特任教授 渡邊 博幸氏 主催: 世田谷さくら会 ☎03-3308-1679

☆6/11(土) うつ状態・うつ病・躁うつ病 講師: 未定
主催: 新宿フレンズ ☎03-3987-9788

☆6/12(日) 障害年金について ~等級判定のガイドラインとは~
講師: 駒木野病院 精神保健福祉士 山口 多希代氏
主催: シュロの会 ☎080-1211-6898

☆6/18(土) 親のあるうちの自立のために 講師: 内閣府認定NPO法人日本ケア・
カウンセリング協会 代表理事 臨床心理士 品川 博二氏
会場での先着順: 40名 主催: 西多摩虹の会 ☎090-1882-0306

☆6/19(日) 精神障がい者の家族のためのコミュニケーション・ワークショップ
参加費4000円(東京つくし会家族会員は2000円) 講師 品川 博二氏
主催: NPO法人日本ケア・カウンセリング協会 ☎03-6912-2605

※参加申込み・お問合せは、主催者までお願いします。

☆賛助会員(敬称略)
甲斐 重守
匿名希望
ありがとうございます。

2000円
2000円
2000円



編集後記

桜満開の全生園(ぜんしようえん)へ7
人の仲間と訪問した。全国に13ある国立
ハンセン病療養所の一つで都下東村山市
に明治42年開設されて今年で107年目にな
る。
一行のうち初めての訪問は、小生1人で
あと6人は2回目以上の方々で、これはハ
ンセン病にまつわる隔離政策と偏見・差
別・排除の歴史が魂にふれるからとのこと。
最初は、資料館を、当事者で今は完治された
Iさんをガイドとして回り始めた。最初の一
言が「私の説明で、疑問・質問が出ないのは
人権侵害になりますので、遠慮なく質問して
下さい」と言ったあと、「私の名前Iは本名
ではありません」、何故なら・・・。199
6年のらい予防法の廃止まで約百年の歴史
をただただ息をのんで伺った。生まれた子供
を抱っこできないと言う話には息が詰まっ
た。約2時間のご案内終了後、約10万坪の
園内の一角にあるレストランでお汁粉を食
べた。樹木希林主演で全生園を舞台にした映
画「あん」のなかで、館作り名人からタイト
ル名がついている。主人公徳江さんのお墓の
替わりに植えられた桜が、今目の前にある桜
吹雪となっっている感覚に襲われた。再度訪問
したいと思った。

都連副会長 松沢 勝

つくしだよりは赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。